

平成17年10月28日

平成18年度猪名川町予算
編成に対する会派要望書

猪名川町長

真田 保男 様

猪名川町議会 清流会

会 長 関口 功男

会 員 福井 昌司

〃 尾川 悦子

〃 西谷 八郎治

平成18年度に向けては、景気回復の兆しが見えつつも、未だ厳しい状況下にあることは推察しております。加えて、財政収支比率、公債費比率等の増大による厳しさは承知しております。

しかしながら、真田町政3期目のスタートの年であり、本町が3万人都市として自立する元気なまちを目指すにあたって、町長は改革と断行を基本に「安全で安心なまちづくり」の推進に、より積極的な姿勢を持って諸施策の展開に取り組まれるものと確信しております。

つきましては、新年度予算編成に際しまして「清流会」として、次の事項について注視し特段の配慮をされるよう要望いたします。

《 要 望 事 項 》

〔 総務・企画関係 〕

- ・三位一体改革における、本町の取り組みを明確化すること。
- ・後期基本計画の事業実施にあっては、効率的・効果的な対応に努めること。
- ・行政の機構、組織、給与（特勤）等の全体的な処遇の見直し。
- ・少子化社会への対応策の具体化事業に取り組むこと。
- ・指定管理者制度の実施に向け、受け皿である組織を支援していく行政のスタンスを確立すること。

〔 福祉関係 〕

- ・社会福祉協議会の連携強化と新規事業への取り組みに対し支援をおこなうこと。
- ・小児・救急医療体制の充実を図ること。

- ・ 介護予防重視型システムへの転換に関し、新予防給付の導入・地域包括支援センターの設立・地域密着型サービスの展開など転換期における体制強化を図ること。
- ・ 障害者の地域生活支援及び就労プロジェクトを設置すること。
- ・ 次世代育成支援地域行動計画の推進においてはフォローアップ会議を実施すること。
- ・ 施設のバリアフリー化を充実させ、ユニバーサルな地域環境を構築すること。

〔教育・文化関係〕

- ・ 大野山、ふるさと館を自然学習・体験学習の場として一層の充実を図ること。
- ・ 生涯スポーツと健康の町づくりの推進にスポーツ施設などの拡充に努めること。
- ・ 確かな学力と心を育てる「わくわくスクールプラン」の実施にあたっては、各関係機関のさらなる連携を図り、さらなる一貫した教育体制を推進すること。
- ・ 学童保育の年齢制限撤廃を行ない、留守家庭児童等の育成を強化すること。

〔建設・環境関係〕

- ・ 一般県道・主要町道の整備促進に努めること。
 - 県道・・・島能勢線、下佐曾利笹尾線
 - 町道・・・原広根線、木間生旭ヶ丘線
- ・ 雨水対策（モデル地区設置等）に積極的に取り組むこと。
- ・ 猪名川総合治水事業を促進すること。
 - 笹尾、柏梨田地区を重点に取り組むこと
- ・ 河床清掃、浚渫に取り組むこと。
- ・ 地籍調査の早期完了に努めること。
- ・ 交通安全対策を推進し、危険個所の解消に努めること。
- ・ 安心安全（交通、防犯、災害等）のまちづくりに積極的な取り組みをおこなうこと。

〔産業・観光関係〕

- ・ 商工業者の支援育成と経営安定化対策を一層強化すること。
- ・ 農林商工業振興資金のさらなる活用推進策を講ずること。
- ・ 林業振興（めぐみの森、里山等）を推進すること。
- ・ 「地産地消」と「食育」の推進を図り、ニートやフリーターなど若年世代の自立やキャリア支援を図るための循環型の施設整備をおこなうこと。

以 上